

進路講演会・座談会

進学部一年 末永 智久

十月一三日、北九州予備校の大山純治先生を招いて、二年生・三年生・保護者参加で進路講演会が行われた。どの様に「脳」を効率よく使うか？から話は始まり、予備校ならではのデータをもとに、失敗しない受験についてのお話を聞くことが出来た。

問題は、この講演会で聞いたことをやるのか？聞き流すのか？で決まるそう。とても有意義なお話を聞いたが、実際にどこまでやれるかが、受験成功への鍵の様だ。

その後、場所を移して、進路座談会も開催。昨年卒業された生徒のお母さまにご参加いただき、受験の際の保護者の心構えや、金銭事情など、詳しく伺いする事ができた。

関西方面の大学を受験された脇田さんの場合、十月の時期にホテルや飛行機を押さえて、本人のみが受験に挑むという形。学校の受験旅行の見積もりもあるので、照らし合わせながらホテルや飛行機を決めたそう。

福岡方面を受験された上野さんの場合、八月に福岡のホテルを予約され、保護者同伴で福岡に行かれた。前日、受験場の下見にも行かれたそうだが、ほとんどの受験生が受験旅行を利用していたため、保護者は外で見守る感じになったそう。良かったことは、朝、起こしてあげられた事。

お二人に共通な事は、下宿先を早めに決めた方が良いとの事。大学の生協の紹介もあるようだが、気に入った所に住む事を考えると、早めにあたった方が良いというお話。お金に関する質問も多く、私立の受験数にもよるので一概には言えないが、九州方面で二百五十万円、関東方面で百万〜三百万円ほどかかるというお話も。私立受験はお守りと思つて多めに受験する事が安心に繋がるという事。



国公立の受験までの流れの中で、三年の十二月の三者面談までに願書を取り寄せておく事やセンター試験後の三者面談では後期の受験に関して、思いもよらない大学の受験を勧められる事もあるのでその心づもりも必要との事だった。生徒ももちろんだが、保護者の姿勢の在り方も勉強になる講演会と座談会でした。



厚生研修部

厚生研修部部長 橋爪 あゆみ

厚生研修部は会議・講演会への出席もありませんが、恒例の薩摩半島縦走への準備及び生徒への湯茶接待が中心となります。

縦走については、八月二十二日に担当の先生と役員とで具体的内容についての第一回の打ち合わせを行いました。

そして、十月十八日には中継地点である知覧武道館とその周辺、そして、ゴール地点である知覧テニスの森の下見を行うと共に、使用する施設等への挨拶回り、バスルート確認を行い、給水地点で提供する飲料等の購入を行いました。その日の午後、五名の担当役員と役員とで用具点検を行いました。

縦走前日には、五名の担当役員と役員とでトラックへの備品の積み込みを行いました。

当日には、他協力者と共に知覧武道館班と知覧テニスの森班の二班に分かれて名物のレモンティをはじめとした飲料や補助食品等の提供を行いながら生徒への応援を行いました。

進学部

進学部部長 内園 知美

本年度は百十周年を機に、PTA進学部としても、更なる飛躍を志し、活動して参りました。本年度の活動に對しましては、ご理解ご協力をありがとうございました。子ども達の進学に對して、親として意識を高め、情報を共有することが大切です。

研修視察では、当初、熊本大学を予定していましたが、四月の熊本大地震後であったため、視察先を九州大学に変更することになりました。急なことであったにもかかわらず、大学側との連絡を始め、予算面におきましても、迅速に対応してくださった学校、諸先生

生活安全部

生活安全部部長 江口 紀代子

生活安全部の今年度の活動は、単位PTA生活指導担当者会（六月）、市高等学校PTA係研修会（八月）、県生活指導研究協議会研究大会（十一月）への参加。また、街頭補導においては、七月、八月、十二月に計六回参加しました。初回の話し合いを担当を決め、それぞれに活動していただきました。

また、昨年度まで専門部として活動していた広報部を各専門部の中から広報担当者として活動していただき、責任者を生活部の部長である私が担当させて頂いていただくことになりました。各専門部から集まってきた皆さんの多才で、様々な知恵やアイデアを出してください。また、担当の先生方である福永先生、鶴園先生にも多大なる御協力をいただきました。一人では決してできなかったPTA新聞。集まる会の回数もそう多くはありませんでしたが、皆さんとお会いする度に私自身が新聞作りが楽しいものだと感じるようになりました。おそらく「みんな協力する」というコンセプトがあったからだと思います。

今年度、御協力くださった皆様、ありがとうございました。

方に感謝申し上げます。

九州大学では、本校卒業生である先輩と大学から貴重な話を拝聴させていただきました。実りある研修となりました。

また、十月の進学講演会後には初の試みとして座談会形式で卒業生の保護者の方々に実体験をお話ししていただきました。受験と進学の際の親としての心構えを持つことにつながったのではないかと思います。

今後は更に、会員の皆様の期待に込めるべく、充実した活動を目指して参りたいと思います。

《編集後記》

今年度の年間テーマ
“Step by Step” ~未来へ~
にふさわしい一年間でした。
原稿執筆に御協力くださった先生方、関係者の皆様ありがとうございました。